

要請番号 (JL22418A02)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ドミニカ共和国	C101 食用作物・稻作栽培		個別	新規	2年	・2018/3・2018/4・2019/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

経済企画開発省

2) 配属機関名（日本語）

オサマ農牧協同組合

3) 任地（モンテプラタ県ラ・ルイサ村） JICA事務所の所在地（サントドミンゴ特別区）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（バスで約2.0時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

1969年に設立されたオサマ農牧協同組合は、ラ・ルイサ村の農業従事者とコミュニティの住民を対象に、各種協同組合活動を促進してきた。業務内容は金融業務や各種サービスの提供により、組合員の生活改善を実施することである。1994年にIAD(ドミニカ農地庁)の支援により稲の乾燥機、脱穀機、精米機等を設置し、地域のコメ農家の生産から流通に至るまで支援を行っている。現在の組合員数は75世帯、組合員全体のコメの年間収穫量は、約11,400トン。地元消費用作物としてコメの他にキヤッサバ、プラタノ(調理用バナナ)、カカオ、熱帯果物などを栽培している。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

同地域では現地消費用のインディカ米を3-6月と8-11月の二期作で栽培しているが、近年は生産量の伸びが思わしくなく、特に8-11月期の生産が低迷している。この状況を受け、小規模生産農家に向けた、生産量の増加を目的とした技術支援を求め、ボランティア派遣の要請が挙げられた。なお同配属先が有している精米所の乾燥機や脱穀機は設置から20年以上が経過し、老朽化が進んでいるが、そのリニューアルをFEDA(農業開発特別基金)の資金を通じて実施することになり、今後同基金のプログラムが順調に推移すれば、それら機器が更新される見込みである。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

3-6月と8-11月の二期作で水田稲作をする、約40の農家に対し生産量を増加するために以下の支援をする。

- 1.コメの育苗から収穫までの技術支援を行う。
- 2.灌漑設備(ダム利用)の有効活用の助言をする。
- 3.現行の有機肥料利用について改善点などの助言をする。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

乾燥機、脱穀機、精米機

4) 配属先同僚及び活動対象者

農協の主要メンバー6名 男性4名、女性2名 30-60代
稻作農家 40家

5) 活動使用言語

スペイン語

6) 生活使用言語

スペイン語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許/資格等]：()

[学歴]：() 備考：

[性別]：() 備考：

[経験]：(実務経験) 2年以上 備考：技術的な支援が必要であるため

[参考情報]：

- ・大学等での実習も実務経験に含む。

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(熱帯モンスーン気候) 気温：(18~34°C位) [電気]：(不安定)

[通信]：(インターネット可 電話可) [水源]：(不安定)

【特記事項】

インターネット・電気・水道などのインフラサービスは一応あるが、常時安定しているわけではない。

【類似職種】